

# PDCAサイクルの構築による命のバトンリレー すべての介護関係者に求められる 生きるを支える看取り介護 最終ステージの判断基準・家族対応を学ぶ



## 体制整備・家族の同意、スタッフ教育の実際

看取り介護とは決して特別なケアではなく、日常介護の延長線上にあるものであり、日頃の介護の質を高める努力と、高齢者の最晩年期の暮らしを護るという理念が求められます。そして看取り介護とは死の援助ではなく、人生の最終ステージを「生きる」ことをいかに支えるかが問われるものです。本セミナーでは、そのために何をすべきなのか、看取り期の判断基準や本人および家族の同意、職員教育の実際等についてわかりやすく解説します。

**菊地雅洋氏** 北海道介護福祉道場 あかい花 代表

北星学園大学文学部社会福祉学科卒業。特別養護老人ホームの施設長を経て現在はフリーランスとして、介護福祉関係の組織や団体から講演依頼を受けて全国を奔走中。ブログ「masaの介護福祉情報裏話」では一味違った切口で、福祉や介護の現状、問題について熱く語っている。主な著書に介護職としての使命ややりがいをもとめた『介護の誇り』（日総研出版）等がある。

<b>札幌</b>	18年 11月3日 (土・祝)	道特会館
<b>仙台</b>	19年 1月26日 (土)	ショーケー本館ビル
<b>東京</b>	19年 1月27日 (日)	LMJ東京研修センター
<b>名古屋</b>	19年 2月2日 (土)	日総研ビル
<b>大阪</b>	19年 2月3日 (日)	田村駒ビル
<b>福岡</b>	19年 3月16日 (土)	福岡商工会議所
<b>岡山</b>	19年 3月17日 (日)	福武ジョリービル

[講義時間] いずれも10:00~16:00

参加料 一般 18,500円 会員 15,500円  
 ※会員は日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。  
 ※昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。  
 ※ご参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数18人。

### プログラム

1. 地域包括ケアシステムの中での終末期支援
2. 看取り介護の実践に対する不安と疑問について
3. 看取り介護とは何か
  - 1) 看取り介護の判断基準を巡る諸問題~苦しみの多い終末期医療
  - 2) 自然死をどう考えるか
4. 介護施設における看取り介護について
  - 1) 看取り介護指針について
  - 2) 看取り介護の実施までの流れ(計画・同意・実施・記録等について)
  - 3) PDCAサイクルの構築について
  - 4) 看取り介護期における医療支援体制について
  - 5) デスカンファレンスの重要性
  - 6) グリーフケアについて
  - 7) 実際のケースからの学び
  - 8) 看取り介護の質を高める職員教育
5. 看取り介護のキーワード
6. 看取り介護を密室化させないために
  - 看取り介護をめぐる諸問題について
7. 命の尊さの理解
  - 1) スピリチュアルペイン(霊的苦痛)の受容
  - 2) 最期の瞬間に、傍らにいたことが許される者になるために

お客様の生の声は

ホームページ 毎週更新

## がん患者ケア、早期の緩和ケアを推進する! エンドオブライフケア

End-of-Life Care

9-10月号  
特集

## 安静と安全と自立のはざままで 終末期の排泄ケア

隔月刊誌(年ぎめ定期刊行物) B5判 112頁 入会金 3,000円 年間購読料 18,514円(共に税込)

▶詳細はホームページで [www.nissoken.com](http://www.nissoken.com)

●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

<b>FAX申込書</b> すべての介護関係者に求められる 生きるを支える看取り介護 [14238] ↓参加地区に✓印を [15] <input type="checkbox"/> 札幌 11/3 2019年 [16] 仙台 [17] 東京 [18] 名古屋 <input type="checkbox"/> 1/26 <input type="checkbox"/> 1/27 <input type="checkbox"/> 2/2 [19] 大阪 [20] 福岡 [21] 岡山 <input type="checkbox"/> 2/3 <input type="checkbox"/> 3/16 <input type="checkbox"/> 3/17	▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください ふりがな 氏名 (受取確認者) 生年月日 西暦 19 年 月 日 ▼日総研の会員制・専門雑誌をご購読の方はお客様コードをご記入ください お客様コード 役職・部署	送付住所 TEL( ) - 〒 - 勤務先名	施設宛 請求書 必要 ・ 不要 送付先 自宅 ・ 勤務先
	ご連絡をお送りします。メールアドレス		

FAX ☎0120-052690 電話 ☎0120-054977

★会員とは日総研専門誌(定期刊行物)の年ぎめ購読者です。

**日総研会員はセミナー3,000円引き!**

主催 **日総研** 日総研出版 〒451-0051 名古屋市西区則武新町3-7-15 日総研ビル

※日総研ではご提供いただいた個人情報に目的に従い適切に利用しております。詳細は[www.nissoken.com/privacy](http://www.nissoken.com/privacy)